

寺内ダム湖周辺道路でのキロポスト設置と 地域連携の取組み

独立行政法人水資源機構
朝倉総合事業所 寺内ダム管理所

◎北川 泰則
○後 雄貴
●鍵田 和彦

1. はじめに

寺内ダムは、朝倉市街地から約10kmと住宅地近郊に位置したロックフィル形式のダムである(図-1)。昭和53年6月の管理開始から現在まで、洪水被害の防止・軽減、都市用水や両筑平野のかんがい用水の供給等を行い、地域の生活圏を支えている。

寺内ダムの美奈宜湖は、ダム湖百選にも選定され、湖面を有した自然豊かな環境のほか、筑後平野と朝倉市街地の雄大な景色がダムから眺望でき、地域住民や観光客の憩いの場となっている。

また最近では、ダム周辺を散策・ウォーキングする来訪客も多くみられる。

これを踏まえて、今後も寺内ダムが地域の生活を支える役割をしっかりと果たせるよう、「ダム貯水池管理の強化」とともに、「より地域に親しみのあるダム」になるような取組みの一環として、貯水池周辺道路にキロポスト(以下「KP」とする。)設置を行った。



図-1 寺内ダム位置図

2. キロポストの概要

2.1. キロポストの目的

寺内ダム貯水池周辺は、目印となる建物や構造物が少なく、災害時の被災位置の正確な位置情報の伝達が困難なこと、また、寺内ダム貯水池周辺の不法投棄も課題の一つとなっている。これらの課題を解決するには、まず正確な位置情報を取得できるようにすることが重要であるため、KPの設置を検討することとした。

また、周辺道路にKPを設置することで、散策やウォーキングで来訪する方にも、KPが活用される利点も見込まれる。さらに、ダムに関する情報提供の場としての活用ができないかの検討もすることとした。

2.2. キロポスト設置計画・構造の検討

ダム周辺道路は、県道と市道により5.535kmで周回している(図-2)。KPの設置間隔は、①位置情報伝達に必要な精度、②設置の作業量を考慮し、100mピッチ(56箇所)とした。

また、KPの構造は、①豊かな自然環境に調和すること、②人目に付くこと、③手作業で設置ができること、④すぐに朽ちないことを考慮して、大きさを決定し、材質は木材とし、文字は焼き印で仕上げ、防腐処理を施すこととした(図-3)。



図-2 キロポストルート図

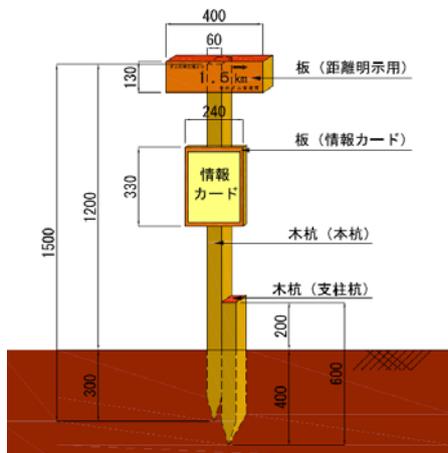


図-3 キロポスト構造図



図-4 情報カードの内容

2.3. 情報カードの設置

ダムの来訪者に自然環境に関心を持ってもらえるように、ダム周辺に生息する生物を紹介する「情報カード」を設置することとした。情報カードにより、散策・ウォーキングにおいて、紹介した生物を発見する「遊び」のツールとしても活用ができる。なお、生物の紹介に必要な写真は、①地元の愛鳥家からの提供、②河川水辺の国勢調査成果により準備することができた(図-4)。また、寺内ダムに面して、水について学べる施設である「あまぎ水の文化村」の紹介も取り込んだうえで、ゾーン(お魚・野鳥・周辺施設)を構築(図-2)し、寺内ダム周辺情報を発信することとした。

3. キロポスト設置までの工程

KP設置までの工程は、図-5の作業フローのとおり進め、地域と連携して行った。

なお、寺内ダムで毎年11月に開催される「朝倉市美奈宜湖畔ロードレース大会」の場がKPをPRできる絶好の場であるため、このイベントに間に合うように設置作業を行った。



図-5 キロポスト設置までの作業フロー図

3.1. 地域への浸透(地域関係者へのPR)

より地域住民に寺内ダムに親しみを持ってもらえるように、KPの取組みを地域関係者(コミュニティ会長等計8名)にPRし、地域住民へ紹介して頂いた。

3.2. スタート地点の検討

KPのスタート地点(0.0km)は、寺内ダム湖で開催される「朝倉市美奈宜湖畔ロードレース大会」の参加ランナーの練習拠点の一つとして寺内ダムが活用されるよう、朝倉市教育委員会生涯学習課の担当者とスタート地点の現地立会のうえ決定した。

3.3. キロポスト設置の占用協議

KPの設置場所は、人目に付く道路沿いとし、用地の確認を行いながら、ウォーキングメジャーで距離を計測のうえ、竹串で現地に明示した。KPの設置が県道や市道の道路区域となる場所については、各々道路占用協議を行った。

3.4. キロポスト材料準備と看板製作

KPに必要な次の材料・備品を準備した。



図-6 キロポスト看板製作フロー図

- ① 板(距離明示用) : 長さ 40cm×幅 13cm×厚さ 5cm
- ② 板(情報カード) : 長さ 33cm×幅 24cm×厚さ 1.5cm
- ③ 木杭 (本杭) : 長さ 150cm×末口 6cm
- ④ 木杭 (支柱杭) : 長さ 60cm×末口 6cm
- ⑤ 焼きごて (文字刻印用)
- ⑥ ビス (固定用)
- ⑦ ビニル番線 (ガードレール固定用)
- ⑧ ニス (腐食防止用)

距離明示用の板に焼印作業をするとともに、防腐処理(ニス塗布)を行い、K P看板を製作した

(図-6)(写真-1)。K Pの製作にあたっては、地域の方と共同で作業を行った。

3.5, キロポスト設置

K Pは道路沿いに設置するため、車の通行に注意し安全に心掛けて作業を行った。K Pの設置場所が土の場合は、掛矢で杭を打ち込み、コンクリートの場合は、ビニル番線でガードレール等にK Pを固定し、設置した(写真-2)。

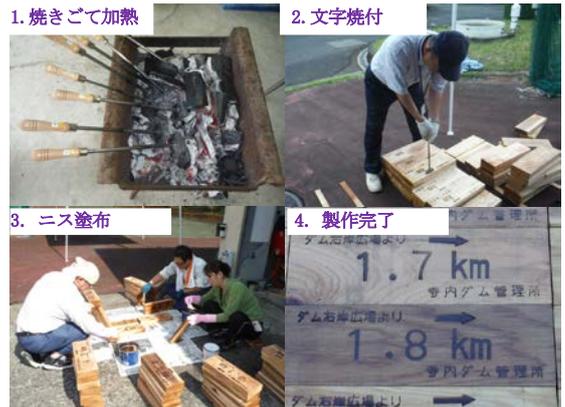


写真-1 キロポスト製作状況



写真-2 キロポスト設置状況

4, キロポストの期待される効果

4.1, 正確な位置情報の伝達が可能

災害発生時の対応では、被災現場の位置情報や被災状況について、第一報として現場から防災本部に電話連絡を入れる。防災本部は第一報を受け必要に応じ、応援班の出動や関係機関に連絡を入れることが求められるため、被災現場の正確な位置情報の把握が重要である。

今回設置したK Pにより、正確な位置情報の把握が可能となった。また、特に人命救助など、短時間で対応すべき案件では、現地の目印ともなるため、非常に有効なものである。

4.2, 不法投棄の防止対策

寺内ダムでは、毎年11月中旬に地元漁業組合と共同し、貯水池周辺の美化活動「ノーポイ運動」を行っている。しかし、残念なことにゴミの量は減少傾向にあるものの不法投棄は後が絶たない状況である。

今後はこのK Pによって、ゴミ回収箇所が特定され、不法投棄された位置情報の履歴を整理することにより、監視体制の強化(監視カメラ設置の検討など)に大いに活用することを考えている。

また、K P周辺の除草や情報カードの張替え等の定期的な維持保守を行うことで、人の手が入っていることを認識させるとともに、ダム来訪者が増加し、人の目が増えることで、不法投棄の減少に繋がることを期待される。

4.3, ダム湖周辺利用者への活用

ダム周辺の住民やあまぎ水の文化村の利用者など、ダム湖周辺での散策やウォーキングをされる方は、年々増加傾向にある。特にダム周辺の住民やあまぎ水の文化村の利用者がダムに立ち寄られ、ダム右岸広場からダム左岸私道へと散策で多く利用されている。

今後もダム湖周辺が利用しやすい環境作りのためにK Pの維持管理を行い、毎年11月開催のロードレース大会の練習コースとして利用の促進が期待される。

4.4, 自然環境・施設の情報発信

寺内ダムを訪れる者が、KPの情報カードに目を傾けている姿が度々見受けられる。今後も寺内ダムの豊かな自然環境を知ってもらうとともに、散策やウォーキングの際に、その生物を発見するなどの遊び心が生まれるような情報提供を継続し、寺内ダムにより親しみをもちたい（図-7）。

4.5, 地域住民との連携

これまで、寺内ダムの地域活動に対して一定程度の理解を得られているが、その活動の様子を見た人にしか伝わっていないようである。

ダムの活動に理解を得るには、職員が自ら体を動かしていることを、より多くの人に知ってもらう必要がある。

平成27年3月には、KPの取組みをきっかけとして、ダム湖周辺を利用した「水源地あさくらの桜ウォッチング」（図-8）の開催に至ることができた。このように、ダム管理業務のPRと地域住民の方との信頼関係を構築していくことで、水源地の活性化・交流、環境保全の啓発活動に繋げていくことができた。

5, 今後の展開

KPを設置したことにより、寺内ダム周辺を利用する人が少しずつでも増加することを期待している。そのためにもKP周辺の除草作業（写真-3）を始め周辺の環境整備を行い、情報カードの内容を定期的に更新することに努めていきたい。さらに、毎年11月に開催されるロードレース大会を市道折り返しコースからダム湖周回コースへ変更し、KPの活用がより発揮できるよう関係団体へ要望していきたい。

6, おわりに

今回設置したKPにより、ダム湖周辺の正確な位置情報を把握することができるようになり、日常・災害時の巡視及び不法投棄があった場合など「貯水池周辺管理の強化」に繋がった。また地域活性化のためにも、寺内ダムを活用した取組みを行うには、地域との協力・連携することが重要であり、ダム職員が地域に溶け込み、信頼関係を構築するためにも、地域住民と共同作業を行う取組みを積極的に行っていくことが大切である。

今回のこのKPの取組みは、「より地域に親しみのあるダム」のきっかけになったものと考えられ、今後も引き続き、地域に愛されるダムを目指して、さまざまな取組みを行っていききたい。最後に、他のダムにおいてもこの取組みが参考になれば幸いです。



図-7 広報あさくら（H27.4.1号）に掲載



図-8 水源地あさくらの桜ウォッチング



写真-3 キロポスト周辺の除草作業